

## 3年生小論文講演会

7月8日（金）放課後、「3年生小論文講演会」を行いました。

学研アソシエ・学力開発事業部の波多野洋司様を講師にお招きし、「希望進路実現に向けて～小論文採点基準、鳥の目・虫の目、志望理由書の要点」と題して、約90分、お話しいただき、約80名の3年生が参加しました。講演の後、個別質問にも多くの生徒が順番を待ち、アドバイスを受けました。波多野先生、どうもありがとうございました。

今後の予定

7月23日（土）第1回小論文模試

1月下旬（センター試験終了後）第2回小論文講演会



### 【参加生徒の感想より 抜粋】

- 詳しく資料に載っていないことまで話してくださってとてもありがたかったです。特に小論文で問われる思考力「類比力」「対比力」「因果関係」についての説明がすごく良かったです。
- 私は今までずっと小論文を軽視しすぎていたなというのがよく分かりました。日常の物事を社会問題に結びつけていくことの大切さ、おもしろさがよく分かりました。また、絶対受かりたいという気持ちが強くなりました。ありがとうございました。
- 今まで、僕が思っていた書き方は先生のおっしゃっていた典型的な失敗例にあてはまっておき、多角的な視野で物事を考えたりすることが求められていることがよく分かった。グローバルと言われる社会だけドローカルな視点ということが印象に残った。

●話を聞きながら胸が熱くなった。もっと自分の将来について具体的に考え、調べていこうと思った。AOを受けるので、志望理由書もしっかり書けるようになろうと思った。

●私も正直、小論文のまとめを精神論でまとめているので、今指摘していただいて良かったと思いました。文章を書くことは嫌いではなかったのですが、後期試験である小論にあまり重きを置いていなかったのですが、今回話を聞いて自分の情報や小論における基礎のことが備わっていないことに気づきました。

●志望理由をもっと細かく考えてモチベーションを上げてがんばりたいと思えました。

I shall go.

●自分に当てはまってどきっとすることもあった。今回聞いたことを後期を受ける時に実践できないといけない。「知育体育徳育」が教育の柱だというのも今回で覚えることができました。

●一番印象に残ったのは「恥の文化」「罪の文化」と自分の地域を知っておくことです。特に小論文を書くのに自分の地域を知っておかなければならないとは思っていませんでした。

●まずは新聞の社説を毎日読んで要約することを始めてみようと思いました。

●自分はまだ教員へ憧れで止まっていたなと自覚することができ、改めて教員になるための決意を固め、ノートを作ったりニュースや新聞で世の中のことを知り、地域のことにも積極的に調べていきたいと思いました。より広大の教育に行きたい意志が強くなりました。

●昨年行った第一志望の学校のオープンキャンパスへ行くかどうか迷っていたけどもう一度一人でノートを作って行こうと思います。大学へ「行きたい」から「行く」に決意します。